

〔長久手町業務評価票：平成 18 年度業務〕

課係NO・業務NO	-	総合計画	2 節 8 項	地域防災計画の整備
担当課・係名	都市整備課 建築指導係【問合せ・質問等の先（内線番号）			2 6 6 番】

業務の名称	木造住宅耐震診断業務					
(1)根拠法令・条例	長久手町木造住宅無料耐震診断員派遣要領					
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 4.1% (係の総業務量を 100%とする) 職員延人数：22人・日 (臨時雇用者延人数：__人・日)					
(3)事業費 (人件費分を除く)	600千円 (平成18年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))					
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	__% (平成18年度実績)					
(5)業務期間	開始した年度	14年度	終了(予定)年度	26年度		
(6)業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)						
業務目的 (達成目標)	地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止するため。					
業務が対象とする住民 (地域・層)	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅 (在来軸組構法) を所有している人。					
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	町の広報などで啓発を行い、今年度は20件耐震診断を行った。					
業務の実施結果 (平成18年度実績)	広報を年2回行っている。					
	【業務結果の説明指標】					
		結果の説明指標	17年度	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
1	診断戸数		53戸	20戸	20戸	550戸
2						
3						
4						
5						
業務の成果 (業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	着実に診断を進めながら、災害時の倒壊家屋の減少に寄与できた。					
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】					
		成果の説明指標	17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
1	診断戸数の割合		85%	89%	92%	550戸 100%
2						
3						
4						
5						

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
目標の到達戸数が達成できそうなので、今後は、56年度以前の住宅を見直し、目標戸数を上げ、安全な町づくりを行っていききたい。

(8)改善実績（過去3年間の実績）
診断対象者にダイレクトメールを実施し、診断を促進する事を行った。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3点
		平均 3.0点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 ② 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） 4. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
評価理由	非木造に対する診断も検討していくため。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
木造だけでなく非木造で、住人が多い共同住宅の診断に対する費用の補助も考えていきたい。